

一緒に活動してみませんか？

南部町では、障がいのある方やそのご家族と共に活動を行うさまざまな福祉団体があります。先月号に引き続き、各福祉団体の取り組みを紹介いたします。

南部町ふゆの会

ふゆの会は、会見地区に住む「こころの病」を持つ家族が団結して、精神保健福祉の充実につとめ、障がい者が安心して暮らせる社会をつくることを目的として生まれました。月1回の定例会では、視察研修や講演会なども企画しています。平成20年度は、クリスマス会なども開催し、ボランティアの方々とも親睦を深めました。

定例会は、2時間の話し合いを通じ、家族の心が軽くなり、小さな楽しみや希望を見つけ、前向きに生きていくための場となっています。共通の仲間と、理解してくださる地域の方々が増えれば、本人も家族もますます生きやすくなります。そんな会を目指して活動しています。



南部町さくら会

「さくら会」は、西伯地区を主な活動拠点とする、精神障がい者をもつ家族の集まりです。家族の誰かが、精神に障がいをもつようになった時、本人お一人の問題に留まらず、家族全体の問題となる場合があります。「どうして？なぜ？」を家族だけで抱え込んでいませんか？

そんな家族が集って、同じ悩みや苦しみを分かち合い、支えあう仲間の会が精神障害者家族会「さくら会」です。同じ悩みを共有できる仲間がいるということ、とても心強いものです。「さくら会」でいっしょに話しませんか？



まずは支える家族が元気になる

さくら会では、まずは支える家族が元気になることを目指して活動しています。

- ・ 勉強会や研修会で、精神障がい者への正しい知識や接し方、医療・福祉制度などについて学習します。
- ・ 同じ悩みを持つ者同士がお互いの体談などを気兼ねなく話し合うことで、互いに助け合う機会を持っています。

中山間集落見守り活動 協定を締結

中山間集落見守り活動は、町内で事業を行っている方が、通常業務の中で発見した異常などを、役場へ連絡・通報してもらうことで、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方などが安全で安心して生活できる地域づくりを推進するものです。

南部町では、新日本海新聞社と中山間集落見守り活動に関する協定を締結し、配達時などに新聞が何日も溜まっている、受け取る方の様子がおかしいなどの異変に気付いた場合に、役場へ連絡してもらい、担当者が必要な対応を行うことにしています。

見守り活動参加事業所を募集します

町内で見守り活動支援が可能な事業者のみなさん、地域貢献活動として参加をお願いします。



お問い合わせ先

健康福祉課 (すこやか)
TEL66-5522

お問い合わせ先

ふゆの会
会長 雑賀美智子 TEL64-3067
さくら会 (事務局)
健康福祉課 TEL66-5524